

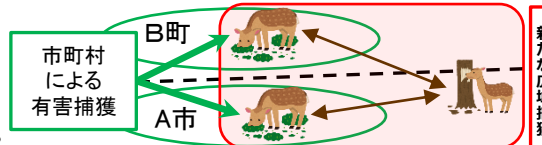
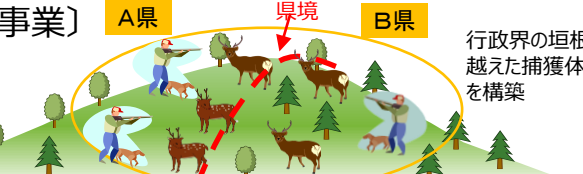
<対策のポイント>

人工林周辺での効果的なシカ捕獲を推進するため、林業関係者によるシカ捕獲効率の向上を図るとともに、都道府県による広域捕獲や新たな捕獲技術等の開発・実証を行います。また、国有林野内のシカ被害が深刻な奥地天然林などにおいて国土保全のためのシカ捕獲を実施します。

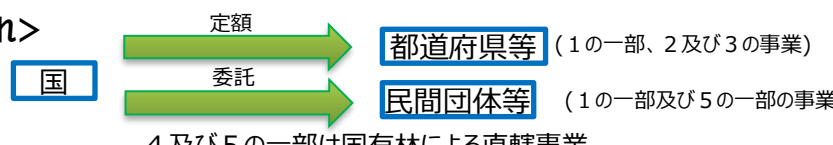
あわせて、近年顕在化しつつあるノウサギ食害の深刻化を防ぐための対策案を作成します。

<事業目標>

鳥獣害防止森林区域を設定した市町村のうち、シカ被害発生面積が減少した市町村の割合〔対前年度以上〕

<事業の内容>	<事業イメージ>
1. シカ捕獲効率向上対策事業16,459（19,724）千円 ○ 林業関係者によるシカの捕獲効率向上のため、捕獲に必要な技能の導入等を支援するとともに、その成果についてノウハウを整理し、横展開を図ります。	〔シカ捕獲効率向上対策事業〕 ➢ 新技術や狩猟熟練者の“勘どころ”技能の実践・技術導入の支援及びその成果の横展開を図ります。 
2. シカ広域捕獲支援事業8,000（12,000）千円 ○ 複数の市町村にまたがる森林域で行う被害予防のための広域捕獲に必要な生息調査や捕獲戦術の策定等を支援します。	〔シカ広域捕獲支援事業〕 ➢ 被害予防のための広域捕獲に必要な、加害群の特定調査やシカ捕獲の専門家の派遣等に対して支援します。 
3. シカ被害対策技術実証事業12,000（13,000）千円 ○ 効果的なシカ被害対策を実施していく上で特に有効なICT等を活用した新たな捕獲技術等の開発・実証を実施します。	〔シカ被害対策技術実証事業〕 ➢ ドローンによる生息状況調査や映像の自動認識を活用したわななど、新技術の開発・実証を行います。 
4. 国土保全のためのシカ捕獲事業63,797（79,686）千円 ○ 森林の持つ国土保全機能の維持増進を図るため、国有林野内の奥地天然林や複数の都府県にまたがる地域において広域的かつ効果的なシカ捕獲を実施します。	〔国土保全のためのシカ捕獲事業〕 ➢ 奥地天然林や複数の都府県にまたがる国有林野で、LPWA等を活用した広域的かつ効果的なシカ捕獲を実施します。 
5. ノウサギ被害対策検討事業8,800（11,758）千円 ○ ノウサギ食害の効果的・効率的な防護や捕獲等の対策案を作成します。	〔ノウサギ被害対策検討事業〕 ➢ 再造林に伴うノウサギ被害の増加を見据え、実践的な対策案を作成します。

<事業の流れ>



【お問い合わせ先】 林野庁研究指導課（03-3502-1063）

経営企画課（03-6744-2321）